



Shimabara
Special
Quality

～もっと身近に、島原ブランドを～
島原スペシャルクオリティ

「あごだしそうめん茶漬け（梅）」

県立島原農業高校の生徒が島原をPRできる新しい特産品を作りたいという思いから、手延べ麺メーカーの「めん mountain」と共同開発した「あごだしそうめん茶漬け（梅）」。市の花である「梅」と特産である「島原手延べ素麺」を組み合わせることで生まれました。

独自配合の梅ペーストは、長崎近海産あごの出汁との相性が抜群。伝統の製法で素麺のコシはそのままに即席麺にし、お湯をかけるだけで食べられるうれしい商品です。

○めん mountain (☎ 65-1110)



「島原てぬぐい てんげ堂」

昔ながらの手刷りで、生地には高品質の「岡晒」^{おかさらし}を使用し、糸や織目が細かいため、肌触りが気持ち良く、吸水性、通気性に優れ、何枚あっても重宝します。また、島原扇やかんざらし、桃カステラなど、地域にちなんだものをモチーフに作られた愛らしいデザインのてぬぐいは、季節や気分に合わせて絵柄をインテリアとして飾ることもおすすめです。

○山口屋染物店 (☎ 62-3768)

▶問い合わせ先 しまばらブランド営業課 (☎ 68-1111 内線 573)

地域おこし協力隊コラム ②

協力隊、なんしょつと？

地域おこし協力隊 光野竜司



リーが作られています。

しかし、私が島原で暮らしている中で感じたことは、地元の人が島原の良さや自慢できるものがないというマイナスイメージを持っているという事です。一方で島原に移住してきた人々からは良いイメージの意見が大半を占めています。

私自身、島原に移住して農業に関わっているのも、この地域の農業に魅力を感じたからです。まずは自慢できることを探して、その裏側にある物語を知ることからスタートしています。

だからこそ、島原の皆さんにあらためて地元を見つめ直していただきたいです。

日常の景色の中はまだ気付いていない素晴らしい景色があると思います。

▼問い合わせ先 政策企画課
(☎ 68-8012)